

おじやまします

46

成長著しいアジア諸国をはじめ、海外の顧客開拓に挑戦する京都企業を訪問しました。顧客の要望に応え海外展開を始めた両社は、ともに先人から受け継いだ商いの心をしっかりと守り繋ぐ、ものづくり企業です。

世界をまわす、未来をまわす



榎藤社長に工場をご案内いただきました

株式会社カシフジ

代表者／取締役社長 榎藤 達郎
住 所／南区上鳥羽鴨田町28
TEL／075-691-9171
事業内容／産業工作機械製造・販売

（株）カシフジは、大正2年創業の産業工作機械メーカーです。主力製品の「ホブ盤」は、動力伝達に欠かすことのできない歯車を製造する機械で、自動車や産業機械、重機メーカーで使用されるなど、ものづくり企業を縁の下で支えています。

榎藤社長は、「当社の機械は納入先で数時間フル稼働することもあります。大半の部品を自社製造し、徹底した品質管理によって精度や耐久性を追求しています」とおっしゃいます。オーダーメイド生産が多く、充実したサポート体制で顧客満足度の向上に取り組んでいます。

多くの老舗企業と同様に、規模の追求よりも、経営者の目が届く範囲の商いにこだわり、実直なものづくりに取り組んでおられます。「国内市場は成熟化していますが、急速に発展するアジア諸国、中でも中国での需要が伸びており海外比率が年々高まっています」と榎藤社長。海外でも顧客の要望一つひとつに丁寧に対応し、国内と変わらぬアフターサービスで市場を拡大し、「京都のものづくり」や「おもてなし」気質を世界へ広めておられます。

酒造り一筋三百余年



北川社長(右)、杜氏の田島さんに酒蔵をご案内いただきました

株式会社北川本家

代表者／代表取締役 北川 幸宏
住 所／伏見区村上町370-6
TEL／075-611-1271
事業内容／酒類製造業

（株）北川本家の創業は明暦3年（1657年）、伏見で最も古い酒蔵の一つで、江戸時代初期に船宿「鮎屋」を営んでいた初代がお客様に「出す酒を造り始めたのが起源です。酒銘『富翁』は10代目が四書五経にある表現から命銘。「飲む人の心まで豊かになるような酒を造りたい」という思いが込められています」と北川社長は語ります。

酒造りを統括する杜氏は、農村や漁村からの出稼ぎが一般的で、同社においても代々福井県から招き入れていたそうです。しかしながら高齡化や後継者難で技術の承継が危ぶまれたため、同社では30年前頃より社員皆で酒造りに取り組む体制をスタート、以来、試行錯誤を繰り返しながら技と知恵の蓄積・継承に努めておられます。

「酒造りは、『麴』と『酵母』という生き物との真剣勝負です。機械化し数値管理を徹底しても計測の変化は結果であり、職人の肌感覚には遠く及びません。長年の経験に培われた技と研ぎ澄まされた感覚こそが、生き物を扱う知恵なので」と杜氏の責務の重さを伺いました。近年は、海外でも日本酒への関心が高まり、輸出货量・金額ともに過去最高水準となっています。北川社長は、国内のインバウンド需要とともに、市場の拡がりをしっかりと捉えていきたいと結ばれました。

職人の技を尊び、真摯な姿勢でものづくりに取り組まれる両社に大変感銘を受けました。技術の伝承と革新の連続による知恵の蓄積と、しっかりと取り組まれている人材育成によって新しい価値が生まれ、次代へ継承されている知恵ビジネスの好例でした。



会頭のひとこと